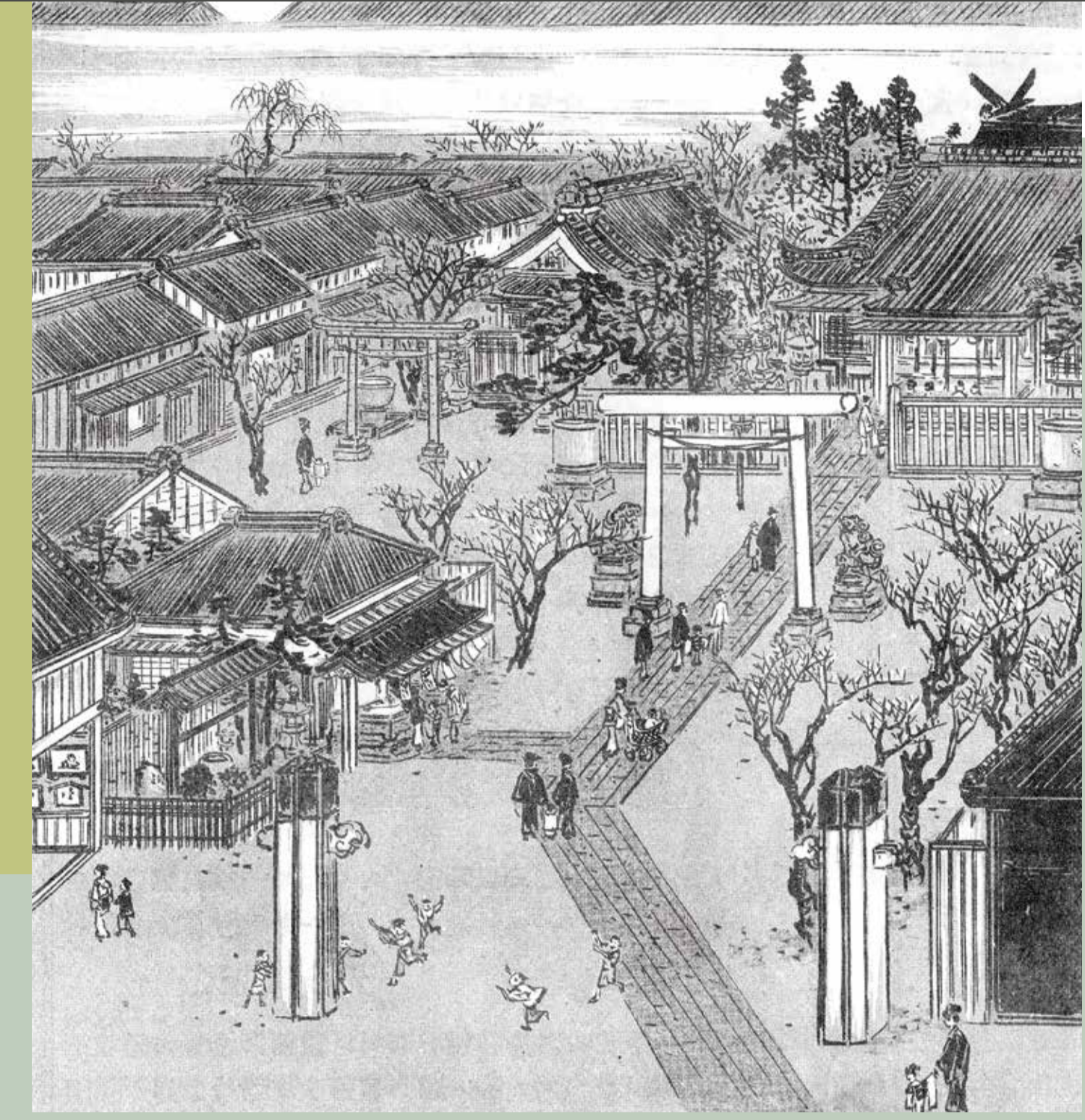


仙基屋敷内塩竈神社之図  
新撰東京名所図絵  
明治34年(1901)

A lithograph titled  
"Shiogama-jinja Shrine at the premises of Sendai  
(Sendaiyashiki-nai Shiogama-jinja no Zu)"  
from The New Tokyo Famous Sites  
(Shinsen Tokyo-meisho Zue), 1901



あたごしたちよう  
愛宕下町

里俗に愛宕下と呼ばれていたのが、これを町名としたと伝えられています。明治五年(1872)、酒井下野守、大鳥備後守、水野山城守の屋敷を合併して愛宕下町一丁目、苗木藩遠山美濃守と岡山藩池田氏の屋敷ほか武家地を合併して愛宕下町二丁目、下妻藩井上氏の屋敷ほか武家地を合併して愛宕下町三丁目、仙台藩、小諸藩、柳生藩の屋敷を合併して愛宕下町四丁目としました。

ろげつちよう  
露月町

むかしは日比谷門内にあり、当時は老月村と称したようです。徳川氏が江戸城を修築するにあたり、民家をこの地に移して市街地を創立して老月町と称しましたが、後に露月町と改めたと伝えられています。一説には、露月は天正年間(1573~1592)の里老の名であるとも言われます。明治三年(1870)、付近の土地に小石川金杉町と堺町の住民が移り、露月町新地としましたが、明治九年(1876)、これを露月町に合併しました。

しばいちょう  
柴井町

町の起立について詳細は不明ですが、一説には、元和年間(1615~1624)、この地の芝原ではじめて劇が演じられ、寛永年間(1624~1644)、芝居小屋は中橋に移り、その跡に開かれた市街地が芝居町で、後に柴井町と改めたといいいます。また一説には、「鎌倉河岸の小芝居が残らず芝居町に移された」、「芝居町の芝居小屋から出火して一同この地を引き払った。後、柴井町と改められた」とも伝えられています。



平成18年(2006)



大正10年(1921)

The origins of old town names in Shiba area.

This signboard guides the origins of old town names, each of which in most cases represents its own history of the beginning or the location.

Atagoshita-chō

The name "Atagoshita" referred originally to the whole area around Atagoshita-chō. This area was divided into four districts in 1872: Atagoshita-chō 1-chōme, 2-chōme, 3-chōme, and 4-chōme.

Rogetsu-chō

In order to be able to repair the castle of Edo, the Tokugawa family moved some private houses that existed inside the Hibiya-mon gate to this place, a town called Rogetsu-chō. Some say that the town was named after Mr. Rogetsu who was a leading old-man during the Tenshō period (1573-1592).

Shibai-chō

The first play (shibai) in this area was performed during the Gen'na period (1615 - 1624), thus the town later established here is said to have got its name "Shibai-chō." There are also other views, and therefore there is no consensus about the name's origin.

塩釜公園 江戸時代に仙台藩伊達家の所有だったこの場所は、関東大震災後に愛宕下町会に寄付され昭和5年に町立公園として開園しました。その後昭和47年に区立公園になりました。

芝地区総合支所 03-3578-3111(代表)

ここは、港区新橋5-19-7 塩釜公園です。